昭和59年からの友好関係の継続発展をめざして

ウェールズ・アベリストウイスと友好協定を締結　　問 企画財政課 ☎43-9015

与謝野町と英国ウェールズ・アベリストウイスは、昭和59年から始まった両町の友好関係を今後とも継続していくため、令和5年11月9日、アベリストウイスにおいて友好協定を締結しました。本町が国外の都市と協定を締結することは、初となります。

両町の交流は、第二次世界大戦中、日本軍の捕虜となり大江山ニッケル鉱山で強制労働を強いられた英国軍人兵士のフランク・エバンス氏が、大江山捕虜収容所で抑留中に亡くなった僚友を偲んで、旧加悦町と日本冶金工業とともに、昭和59年に大江山運動公園に慰霊碑を建立したことをきっかけに始まりました。平成4年からは、友好の架け橋として高校生の相互派遣交流を進め、受け入れと派遣を交互で行ってきました。これまでにアベリストウイスの高校生67人、当町の高校生83人がお互いの町を訪問しています。

当日は、山添町長とアベリストウイスのケリー・ファーガソン町長が協定書に署名。この協定により、友好協力と平等互恵の原則に基づき、歴史や文化、教育における交流を通じて、互いを理解し、尊重し、友好関係のさらなる発展に努めます。

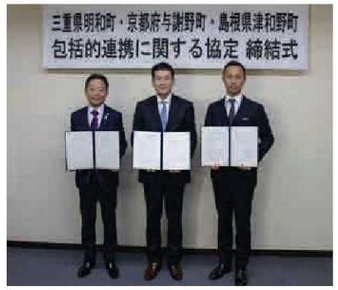
友好提携に関する締結協定書に署名した山添町長とケリー・ファーガソン町長（右）

新たに2分野を加えてさらなる連携をめざします

三重県明和町・島根県津和野町と包括的連携を締結　　問 企画財政課 ☎43-9015

与謝野町では、平成26年1月29日に三重県明和町（世古口哲哉町長）と島根県津和野町（下森博之町長）と「災害時の相互応援に関する協定」を締結しています。

この度、本協定を拡充し、さらなる連携をめざすため、令和5年11月21日、津和野町役場において包括的連携に関する協定締結式を行いました。包括連携協定では、新たに「観光・産業の地域活性化」と「文化・教育の活動」に関する分野を取り入れています。これにより、それぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、幅広い分野で相互に連携することにより、地域社会の持続的な発展、地域課題への対応や地域間交流に寄与することをめざします。



包括連携協定に署名した世古口町長（左）・下森町長（中央）・山添町長（右）

与謝郡の戦没者遺族相談員が決定

令和5年10月1日付けで、江原英樹さん（三河内）が厚生労働大臣から与謝郡の戦没者遺族相談員として業務を委託されました。

戦没者遺族に係る各種年金、給付金等の受給に関する相談や戦没者遺族の生活上の問題に関する相談がありましたら、ご相談ください。なお、任期は7年9月30日までです。

【連絡先】江原英樹 ☎43-1161

江原さん

河川水質検査結果のお知らせ

町内14河川の汚れの度合いを検査　　問 地球温暖化対策室（農林環境課内）☎43-9023

与謝野町では、年に一度町内を流れる河川の水質検査を行っています。検査結果は、河川の汚れの程度を表す「BOD（生物化学的酸素要求量）」で示します。BODとは、微生物が水中の汚濁物質を分解するために必要とする酸素の量で、値が大きいほど水質汚濁が著しいことを表します。

令和5年度のBOD値は、岩屋川、香河川、野田川（大江山橋、三村橋）、温江川、三田川では前年度から減少に転じましたが、一部では数値的に問題ないものの増加した河川もありました。引き続き、より与謝野町が推進する阿蘇海の水質浄化に向けて、一層の取り組みを進めていきたいと考えています。

町内各河川のBOD値経年変化

（単位：mg/ℓ）

採取場所	令和5年度	令和4年度	令和3年度	平成18年度
奥山川（大薮橋）	0.7	0.7	2.0	1.4
岩屋川（青田橋）	0.7	0.9	ND	1.1
水戸川（川尻橋）	1.9	0.7	0.6	0.7
香河川（浅郷橋）	0.7	0.8	ND	0.7
野田川（堂谷橋）	0.8	0.6	0.9	0.8
野田川（大江山橋）	ND	0.7	0.5	0.5
野田川（三村橋）	0.6	1.2	0.9	0.7
野田川（岩滝橋）	0.7	0.5	0.7	0.7
滝川（滝川橋）	0.7	0.6	0.7	ND
温江川（西光寺橋）	0.7	0.9	0.8	0.6
加悦奥川（宮野橋）	0.9	0.9	0.5	0.6
亀山川（砂原橋）	1.1	0.8	1.5	1.4
三田川（三田橋）	0.8	1.0	ND	0.6
男山川（男山大橋）	0.6	0.6	ND	0.7

※ND・・・定量下限値（0.5）未満

阿蘇海の浄化に向けた取り組み

阿蘇海の周辺地域では、美しい阿蘇海を取り戻そうと地域や各種団体でさまざまな取り組みを進めていますが、抜本的な解決にはつながりにくく、継続した地道な取り組みが必要です。

また、京都府、宮津市、与謝野町をはじめ有識者や自治会など阿蘇海を取り巻く幅広い分野の団体が集まり立ち上げた「阿蘇海環境づくり協働会議」では、阿蘇海環境ポスターコンクールや小中学生に向けた阿蘇海流域の環境学習の実施のほか、地元地区による野田川・阿蘇海の清掃ボランティア活動などを実施しています。

空き家バンクへご登録ください

空き家バンク登録・登録奨励金　　問 企画財政課 ☎43-9015

自然に囲まれた暮らしを求めて、都会から地方へ移住する方が増えています。町内に空き家をお持ちで売却または賃貸したいとお考えの方は、与謝野町空き家バンク（以下、「空き家バンク」）への登録をご検討ください。登録いただくと、物件を探している希望者とのマッチングをお手伝いします。また、空き家バンクに登録された場合、所定の要件を満たす物件の所有者に対して、1物件につき5万円の登録奨励金を交付します。

空き家は放置すると資産価値が下がるだけでなく、倒壊により他人にけがをさせるおそれがあります。地域の安全と活性化のために、空き家バンクをご活用ください。

※登録には諸条件があり、登録できない空き家もあります
※登録後も所有者または管理者において、適切な管理をお願いします